

# 令和5年度 環境基本計画総括表

## 1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する

### ◎全体の総括

基本目標1の進捗状況は、「目標どおり達成」が約半数となりました。一方、「一部未達」や「未達」の事業も半数見られました。「一部未達」となったのは再エネ機器（蓄電池、燃料電池、V2H）に対する補助の件数やつくたく利用者数等、「未達」となったのは低炭素住宅の認定戸数、「未実施」となったのは低炭素自動車への乗換えに対する補助件数でした。

### ◎評価結果（全13取組）

### ◎計画の成果を測る評価指標

進捗状況	評点	取組数
目標を超えて達成	5	0
概ね目標どおり達成	4	7
一部未達成であった	3	2
未達成（目標の半分未満）であった。	2	1
未実施	1	1
評価せず	-	2

評価指標	現状実績値	目標 (2030年度)
温室効果ガス排出量	1,874千t-CO <sub>2</sub> (2019年度)	1,519千t-CO <sub>2</sub> (2013年度比26%減)
低炭素住宅の新規入居戸数※	453戸 (2018~2023年度)	605戸 (累計)

※つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインで認定する戸建住宅でエネルギー消費量や断熱性能に優れた住宅

### 1-1 低炭素社会の実現に向けた様々な主体の取組の促進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評点
2	家庭や事業所のエネルギー使用実態のモニタリングデータとして最適な情報やデータの検証方法を再検討し、補助金交付者からの取得方法及び取得データのフォーマットを決定する。	モニタリングデータのフォーマット作成	産総研の協力によりモニタリングデータのフォーマット完成。データ取得率約85%（フォーマット完成）	4
3 (1)	【重点施策】市域の地球温暖化対策を誘導するための組織を超えた関係者による事業の検討（気候市民会議つくば、脱炭素先行地域事業、宅配ボックス導入補助、カーシェアリング推進事業など）	宅配ボックス補助件数	13件、16棟（50件）R6年2月末時点	4
		カーシェアリングの次年度以降の事業の方向性の検討	市役所ステーションの継続決定。（方向性決定）	

### 1-2 まち・建物の低炭素化

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評点
4	蓄電池・燃料電池、V2Hの購入に対する費用補助	蓄電池補助件数	296件（330件）R6年2月末時点	3
		燃料電池補助件数	10件（80件）R6年2月末時点	
		V2H補助件数	9件（20件）R6年2月末時点	

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評価
5	「低炭素（建物・街区）ガイドライン」の周知・見直し、基準を満たす低炭素住宅（戸建・集合住宅・非住宅）の認定	ガイドラインの基準を満たす低炭素住宅の認定戸数	81件（220戸）R6年2月末時点	2
6	「立地適正化計画」の目標や概要を周知し、届出制度により住宅開発等の動向を把握し、コンパクトなまちづくりを推進する。	—	居住誘導区域外の住宅開発届出28件、都市機能誘導区域外の誘導施設開発等届出3件、立地動向を事前に把握した（—）	—
7	公共施設におけるエネルギーの有効利用、設備の省エネ化（LED化・太陽光発電設備設置）及び低炭素な電力契約の導入	つくば市役所におけるCO <sub>2</sub> 削減量	CO <sub>2</sub> 排出量未算定（47,791t-CO <sub>2</sub> ）R6年2月末時点	4

### 1-3 低炭素な交通システムの実現

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評価
8	コミュニティバス「つくバス」の運行及びそれを補完するデマンド型交通「つくタク」の利用促進。	コミュニティバス利用者数	1,119,971名（1,041,200名）	3
		デマンド型交通利用者数	48,728名（55,600名）	
		筑波地区支線型バス利用者	5,774名（5,760名）	
9	「つくば市自転車安全利用促進計画」に基づく自転車の安全教育、走行環境整備。シェアサイクル「つくチャリ」運営、自転車関連補助の交付、自転車拠点整備業務、自転車イベント開催。	つくば市民意識調査の設問「日常利用する交通手段」に「自転車」と回答した市民の割合	25.4%（25%）	4
10	自転車駐車場の整備、維持管理、放置自転車対策。	自転車駐車場維持管理	放置自転車撤去台数 553件 警告指導 1,917件、口頭指導 550件（—）	4
12	エコドライブの啓発及び燃料電池自動車（水素自動車）の購入補助、制度周知	低炭素車への乗換に対する補助件数	0件（3件）R6年2月末時点	1

### 1-4 気候変動と関連する災害による影響の低減

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評価
13	ハザードマップや防災の出前講座等を通じて、気候変動への適応や災害への備えを周知。	—	出前講座の開催 17回 広報つくばに災害情報掲載6回、商業施設へ防災に関するパネル展示等（4回）（—）	4
14	熱中症警戒アラートの周知、熱中症予防・対処法等の普及啓発の実施	熱中症予防に関する情報周知・啓発	熱中症予防・対処法をHPや出前健康教室等で普及啓発（—）	—
15	農業における気候変動の影響を軽減する技術や方策等の情報収集、発信。	市HP等での周知	温暖化による農作物への影響に関する情報の掲載（1回）	4

# 令和5年度 環境基本計画総括表

## 2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ

### ◎全体の総括

基本目標2の進捗状況は「目標を超えて達成」と「概ね目標どおり達成」が約8割となりました。市民協働型の事業やイベント、法律や条例に基づいた事業は概ね目標どおり達成できました。一方、「一部未達」となった事業も約2割見られました。一部未達となったのは、グリーンバンク事業、有害鳥獣の捕獲事業、自然環境教育事業などです。

### ◎評価結果（全18取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を超えて達成	5	2
概ね目標どおり達成	4	12
一部未達成であった	3	3
未達成（目標の半分未満）であった。	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	1

### ◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状実績値	目標（2030年度）
つくば市の緑地面積（山林原野面積＋農地面積＋都市公園の面積）	15,873.8 ha（2022年）	現状維持
生物多様性つくば戦略	策定懇話会運営	策定（2025年度）取組の推進

### 2-1 生き物・生態系の保全

番	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	値
19	荒廃した山林の整備（下刈り、除伐等）。協定に基づく森林所有者の適切な森林管理。	森林保全協定を締結した森林面積	8.5ha（10ha）	4
21	外来種生息情報の収集、整理及び周知	市HPの外来種情報の充実	特定外来生物の発見情報とその対策及び防除方法の掲載（－）	4
22 (18) (20)	生物多様性つくば戦略の策定懇話会の運営。生物多様性に関する市民アンケートの実施及び取組・事業の把握。	円滑な生物多様性つくば戦略策定懇話会の運営	生物多様性つくば戦略策定懇話会を3回開催（－）	4

### 2-2 里地里山景観の保全

番	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	値
24	「つくば市屋外広告物条例」の適正運用。簡易除却対象広告物のパトロールと除却活動。景観形成基準（形態意匠、緑化等）との適合審査。	簡易除却対象広告物確認のパトロール実施回数	63回（32回以上）記載日時点	4
25	グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度に係る農地仲介・あっせんによる	(1)グリーンバンク事業賃借契約の成立面積	4.5ha（6.0ha）	3

	農地有効利用の促進。第2次つくば市鳥獣被害防止計画に基づく対象鳥獣による被害防止の取組実施。	(2) 鳥獣による農作物被害金額 イノシシ及びカラス、アライグマの捕獲頭数	4,932千円(7,194千円以下) イノシシ:248頭(370頭) カラス:345羽(350羽) アライグマ:332頭(300頭) 全てR6年3月時点	3
--	--	--	--	---

### 2-3 都市の緑を増やし、質を高める

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況(2023年度目標値)	点
26	都市公園・都市緑地・その他の公園の計画的な植栽維持管理。	公園及び緑地植栽の維持管理	360か所の公園及び緑地の維持管理を実施(360公園)	4
27	新規立地企業や既存立地企業に対する、工場立地法に基づく緑地の整備指導。	工場立地法が対象となる企業の敷地内緑地	20%以上達成(敷地内緑地率20%以上)	4
28	T×沿線開発地区の区画整理事業の進捗に合わせた公園・緑地等の整備。	新規公園面積	1.5ha(1.5ha)R6年2月時点	4
29	学校施設の芝生、緑地等の維持管理。校舎新增築等計画時の植栽計画検討。	適切な植栽配置の検討及び維持管理の実施	樹木剪定・害虫駆除及び防虫処理・芝管理業務の委託。(-)	4
30	公園緑地に対する愛護意識の高揚及び環境美化を目的とした「アダプト・ア・パーク事業」(清掃・除草・植栽等)の実施。	アダプト・ア・パーク参加団体数	51団体(42団体)	5
31	地域で活動する団体への花苗配布及び市民協働による花壇等の維持管理。	花苗配布団体数	春・秋ともに150団体以上達成(150団体)	5
32	地区計画で用途、緑化率等の制限を定め、きめ細やかな土地利用の誘導を図る。	地区計画決定に向けた打合せ	吾妻第五地区地区計画を決定。(-)	-

### 2-4 自然とふれあう

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況(2023年度目標値)	点
33	〈筑波ふれあいの里〉農作物の収穫体験事業の実施	体験事業参加者数	89名(80名)	4
	〈豊里ゆかりの森〉施設の改修・整備工事、遊具更新工事等の実施。体験事業及び教室活動事業の実施。	実施回数、参加者数	51回、1,026名(55回、700名)R6年3月時点	
34	森林ボランティアとの協働による森林保全管理、NPOや農業者団体との連携による自然環境教育や森林体験、収穫体験イベントの実施。	体験イベント参加者数	ボランティア活動98名、里山体験77名、ブルーベリー摘取体験278名(500名)	4
35	市民及び環境スタイルサポーターズ会員向け自然環境教育事業の実施。	自然環境教育事業の参加者	58名(100名)R6年3月時点	3

36	ジオガイドや研究者等による出前授業や学生を対象とした支援プログラムの実施。ジオツアーの開催。	教職員のための郷土学習指導者講座実施、新規ジオツアーコースの開発	教職員のための郷土学習指導者講座の開催及び新規ジオツアーコースを開発 (-)	4
37	農産物オーナー制度や農業サポーター制度等の農業体験の実施を通して農業の活性化を図る。	農産物オーナー制・農業体験イベントの参加者数	436名(600名)R6年2月時点	4

# 令和5年度 環境基本計画総括表

## 3 資源を賢く使う循環型社会に近づく

### ◎全体の総括

基本目標3では半数以上が「概ね目標どおり達成」となりました。そのなかでも、3Rに関するサポーターズメール等での情報発信回数や家庭用廃食用油回収量については、目標を超える結果となりました。一方、飲食店の食品ロス削減推進事業や事業系廃棄物適正処理に関する普及啓発事業等では、「一部未達」となりました。

### ◎評価結果（全7取組）

### ◎計画の成果を測る評価指標

進捗状況	評点	取組数
目標を超えて達成	5	0
概ね目標どおり達成	4	4
一部未達成であった	3	3
未達成（目標の半分未満）であった。	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	0

評価指標	現状実績値	目標 (2029年度)
市民一人当たりの生活系ごみ排出量	未算出 R6年2月時点	648g/人・日
市民一人当たりの事業系ごみ排出量	未算出 R6年2月時点	393g/人・日
リサイクル率	未算出 R6年2月時点	25.0%

### 3-1 3Rの推進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評点
38 (39)	資源物集団回収及び生ごみ処理器等購入の推進。子ども向けの3Rの促進・啓発。	資源物回収団体数	105 団体（117 団体）	3
		牛乳パック回収量	1,160kg（2,500kg）	
		3R ニュース発行回数	5 回（4 回）	
40	3R 意識向上、行動促進につながる情報の発信。	市 HP 及びサポーターズメールの掲載回数	サポーターズメールでの情報発信 6 回（3 回）	4
41	業種別ごみ排出状況の調査、把握。多量排出事業者への一般廃棄物減量化等計画書提出の要請、3R 意識向上、飲食店等の食品ロス削減の推進。	一般廃棄物減量化等計画書提出件数	137 件（100 件）	3
		いばらき食べきり協力店への新規登録数	4 件（45 件） R6 年 1 月末時点	
42	回収した家庭用廃食用油からの BDF の精製、公用車（サステナスクエア内の作業車両等）での活用、更なる BDF 活用の検討。	家庭用廃食用油回収量	15,510 L（10,000 L） R6 年 1 月末時点	4

## 3-2 廃棄物の適正処理

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評点
43	廃棄物処理の適正管理。サステナスクエアの維持管理。	搬出先の最終処分場及び資源化施設の追跡調査	最終処分追跡調査により焼却灰及び不燃物残渣の適正運搬・処分を確認。（-）	4
44	粗大ごみの戸別収集の実施。家庭ごみの出し方カレンダー配布及びごみ分別アプリの周知。	粗大ごみ収集予約件数	11,137件（12,000件）R6年1月末時点	4
		ごみ分別アプリのダウンロード数（年間）	6,817件（8,500件）R6年1月末時点	
45	県との連携による市内産業廃棄物処理施設の立入調査、不適正管理案件の調査・指導。排出事業者に対する産業廃棄物と一般廃棄物の分別を促すパンフレット等配布及び訪問による啓発。	排出事業者への訪問啓発件数	11件（30件）R6年1月末時点	3
		啓発パンフレット配布数	事業系廃棄物適正処理パンフレット2,890部（3,000部）	

# 令和5年度 環境基本計画総括表

## 4 安心して快適な生活環境で暮らす

### ◎全体の総括

基本目標4の進捗状況は「目標を超えて達成」と「概ね目標どおり達成」が8割以上となりました。特に、環境美化ボランティア人数や、農業用廃プラスチックや葉刈り芝の回収量といった指標で目標を超えて達成しました。一方、「一部未達」の事業も約2割で見られました。一部未達成となったのは、騒音や振動への苦情件数、浄化槽補助申請数等の指標です。

### ◎評価結果（全11取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を超えて達成	5	3
概ね目標どおり達成	4	6
一部未達成であった	3	2
未達成（目標の半分未満）であった。	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	0

### ◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状実績値	目標 (2030年度)
2018年度市民の環境不満足度 (5年に1度の調査)	空気のきれいさ：5.8% 水のきれいさ：18.4% 静けさ：13.2% ごみ収集や処理方法：9.5%	現状より改善

### 4-1 清潔で静かな生活環境の確保

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評点
47	環境美化活動の支援、周知、啓発。市民参加型環境美化活動の実施。	自発的な環境美化活動（ボランティア）者数	11,733人(延べ10,750人)	5
49	市内一斉清掃の実施。不法投棄パトロールの実施及び不法投棄ごみ回収。不法投棄禁止看板の交付、ごみ集積所の設置補助。	市内一斉清掃の実施回数	2回（2回）	4
		不法投棄パトロール実施日数	324日（350日）R6年2月末時点	
		集積所設置事業補助金の交付件数	28件（30件）R6年2月末時点	
50	野外焼却行為禁止の区会回覧及び広報紙による周知。不法投棄防止の周知強化。防犯環境美化サポーターによる市内巡回パトロール	区会回覧及び広報紙による周知回数	区会回覧及び広報紙での周知（4回）	4
		防犯環境美化サポーターパトロール日数	324日（350日）R6年2月末時点	

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評価
51	農業用廃プラスチックの回収及び適正処理の啓発。ストックヤードの設置、葉刈り芝の回収及び新たな候補地調査・交渉。葉刈り芝のたい肥化促進のための、発酵促進剤と消石灰の配布。	農業用廃プラスチックの回収量	39,280kg（28,000kg）	5
		葉刈り芝の回収量	102,500kg（75,000kg）	
52	公害法令に基づく届出受理、立入検査、行政指導、行政処分等の実施。公害防止協定に基づく事業所指導。自動車騒音常時監視調査の実施	騒音・振動苦情件数	76件と目標値を下回ったが、昨年度と比較し、大幅に削減。（50件）	3

#### 4-2 安全な生活環境の確保

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評価
53	公害法令に基づく届出受理、立入検査、行政指導、行政処分等の実施。公害防止協定に基づく事業者の指導の実施。河川、地下水の水質測定。	水質・悪臭・大気苦情件数	43件（40件）	4
54	高度処理型合併処理浄化槽普及促進のための設置補助	浄化槽補助申請数	70件（100件）	3
55	配水管の破損等の緊急時における修繕工事の実施。	-	配水管等修繕工事 91件、消火栓修繕工事 10件（-）R6年2月末時点	4
56	公共下水道の整備、中継ポンプ場、マンホールポンプなどの下水道施設の計画に基づく適正な維持管理及び改築工事。	下水道普及率	公共下水道の整備、維持管理及び改築工事の実施。（86.4%）	4
57	農地からの表土流出を防止するカバークロープ事業の実施。 土壌への炭素貯留や生物多様性保全に効果的な営農活動の推進。 特別栽培農産物及び有機 JAS 認定者に対する有機資材購入費補助。 化学肥料等を低減した環境保全型農業の推進、農薬の適正使用の周知。	カバークロープ補助対象面積	32.5ha（30ha）	5
		環境保全型農業直接支払交付金対象面積	24.07ha（15ha）	
		有機資材購入費補助対象面積	188.0ha（150ha）	
		農薬の適正使用に関する市 HP 掲載及び広報つくば掲載回数	市 HP 掲載常時（1回） 広報紙掲載 2回（1回）	
58	PRTR 法に基づく対象化学物質の排出量・移動量情報の閲覧しやすい環境の形成。	対象化学物質の排出量・移動量等に関する情報の公表	市 HP 掲載。（-）	4

# 令和5年度 環境基本計画総括表

## 5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する

### ◎全体の総括

基本目標5の進捗状況は「概ね目標どおり達成」が6割となりました。特に、大人向けの環境講座イベントの実施回数やエコクッキング事業実施回数等の指標は目標を超える結果となりました。一方、「一部未達」となった残りの4割は、地産地消の推進等に係る事業等でした。

### ◎評価結果（全10取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を超えて達成	5	0
概ね目標どおり達成	4	6
一部未達成であった	3	4
未達成（目標の半分未満）であった。	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	0

### ◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状実績値	目標 (2030年度)
環境配慮行動を行った市民の割合	58%※1 (2018年度)	90%※2
つくば市主催・共催の環境啓発事業参加者数	1,042人 (2023年度)	1,000人

※1：アンケート調査(5年に1度程度実施)の「環境配慮物品購入状況」

※2：アンケート調査(5年に1度程度実施)の「様々な環境配慮行動」

### 5-1 持続可能なライフスタイルの推進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評点
59	民間事業者や他部署等と連携した自然観察講座やエコクッキング事業などの大人向け環境教育講座の実施。	大人向けの環境講座イベントの実施回数	5回（2回）	4
60 (68)	【重点施策】環境分野で活躍する市民団体への支援強化や、情報を広く展開できる人材の発掘。環境配慮製品購入時補助の検討。	環境教育事業の実施回数	5回（8回）	3
61	ホームページや広報紙等による省エネ・環境情報の提供。	サポーターズメール配信回数	41回(36回)	4

### 5-2 将来を担う子どもたちへの環境教育

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評点
62	地域人材、科学関連施設、市の運営事業等と連携した環境学習、SDGsシールコンテスト、スタイル科でのSDGsを意識した環境学習、校外での自然体験活動の実施。	新たにSDGsの視点を取り入れた環境学習プログラムの実施及び見直し。	科学出前レクチャー、稚魚放流レクチャー、SDGsシール・アニメコンテストの実施。GIGA端末を活用したオンライン交流(-)	4

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評価
63	市内小学生や環境スタイルサポーターズを対象としたエコクッキング事業の実施。環境問題意識醸成プログラムとして「省エネドリル」を実施。	エコクッキング事業実施回数	22回(15回)	4
64	学校給食栄養士部会での食生活に関する調査の実施、学校給食に使用する地場農産物や生産者の紹介、生産者による食育授業の企画、実施。	つくば市学校給食会栄養士部会で実施の食生活に関する調査「給食で地場産物を使っている認知度」	5年生：77% 8年生：80% (80%以上)	3
65	環境学習イベントや自然体験プログラム等を通じた学校外での子どもたちの環境教育の推進。環境や持続可能性に関する教材等の作成。	(省エネドリル) 動画の視聴回数	1,409回(1,100回)	4
66	「NPOつくば環境フォーラム」の委託事業。ふれあいの里を拠点とした親子対象の体験型プログラムの実施	実施回数	7回(7回)	3
		参加者数	167名(200名)	

### 5-3 環境と経済の好循環

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2023年度目標値）	評価
69	農産物の地産地消推進のための、6次産業化支援、地産地消レストラン認定事業の実施。	地産地消店の認定数（累計）	160店舗(累計160店舗)	4
70	学校給食における地場産物を活用した献立作成とその情報発信。地元農産物生産者による食育授業の実施。	学校給食における地産地消率(市で生産・収穫された食品数の割合)	15.6%(20%)	3